

# 灯台記念日に越前岬灯台を見学

## 福井県連盟

11月1日の灯台記念日にあわせ、6日(日)が一般開放となったこの日、福井県連盟の敦賀、三国団では、福井県下で一番大きい越前岬灯台（福井県越前町 昭和15年に点灯を開始）を初めて見学した。

両団の役員、指導者と団員の計15名が参加し、指導者の車3台に分乗し午前8時に各市を出発し一時間余りかけて灯台に到着した。

代表者の挨拶のあと、さっそく敦賀海上保安部係員の待ち受ける灯台に入った。急な階段を登り展望所から広い日本海を眺め満足し、一般開放の後続の人たちと交代し灯台を降り全員で記念写真を撮った。

保安部の人に聞くと福井県下では各港の防波堤に建つ大小の灯台も入ると40基余りが今も稼働しているとのことだった。

昭和30、40年代頃には、敦賀湾内に遊覧船が就航していたので、敦賀団は敦賀半島先端の立石岬灯台を何度と訪れ、当時の灯台守の方との交流をしていたが、時代の流れで次々と無人化され、最近では訪れる機会もなかった。今回は団員たちにとって貴重な見学の一日となったので、今後の団活動にも生かして行きたいと思う。

ちなみに、国内では秋田県男鹿市の入道埼灯台から沖縄県読谷村の残波岬灯台まで15基が年間を通じて見学可能とのことだが、今回訪問した越前岬灯台ほか何ヶ所かは年間に見学可能な日を設定し一般開放となっているとのことだ。

灯台の見学の後、近くの越前岬水仙ランド（この一帯は水仙の群生地で60～70ヘクタールの地に栽培されており冬期は観光客も多い）の店舗等を見て廻り団員たちは帰路についた。

（福井県連盟 事務局長 橋詰武）

